

《学校評価シート（高等学校）》

①

評価領域	生徒指導部
------	-------

②	重点目標	・他者を尊重しつつ、主体的に考え行動できる生徒を育成する。		P
③	現 状	・他者を尊重するという意識は芽生えつつあるが、自分本位の言動により人間関係をこじらせてしまう生徒も少なくない。積極的に自分の考えを述べるのが苦手で、何事にも受け身の生徒が多い。		
④	具体的な目標	・自分たちの建設的な意見をまとめて、仁賀保高校の一員として積極的に学校を作り上げていくことのできる生徒を育てる。		
⑤	目標達成のための方策	<ul style="list-style-type: none"> ・校則の見直しなど、生徒が主体的に関わることができる体制を構築し、生徒自身に学校活性化の当事者意識を持たせる。 ・評議委員会を活用して生徒の要望や意見をまとめ、生徒の意見を反映させて、理にかなった生徒指導を行う。 		
⑥	具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・評議委員会を通して、生徒から要望のあった女子制服のスラックス導入について検討し、導入への道筋をつけることができた。 ・Classroomを活用していじめアンケートを実施した。タブレットを使うことにより、些細なことでも記入しやすいよう工夫した。 ・集会等で相手を思いやることの意義や大切さを呼びかけ、他者を尊重する意識を高揚させた。 		
⑦	達成状況	・他者を尊重することの大切さは、ホームルーム活動や学校行事を通して浸透しつつある。		
⑧	自己評価	(評価) B	(根拠) ・評議委員会を活用し、校則の見直しなど生徒の意見を反映させた生徒指導を十分に行うことができなかった。	C
		↑ 評価基準 A：具体的な活動がなされ目標を達成できた B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない ↓ C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない		
⑨	学校関係者評価と意見	(評価) B	(意見) 現状については小学生にも同様なことが言え、根が深い。目標への取り組みは評価できるが、今後も生徒の積極性を育成する指導を期待したい。	C
⑩	自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・他者を尊重する意識の醸成は今後も継続していきたいが、そのためには全校集会や学年集会での積極的な働きかけを実施したい。 ・整容の規定などルール作りに生徒も参画させ、校則に対して自分ごととして捉えるよう、生徒の当事者意識を高揚させたい。 		